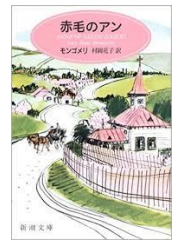


かがやき

「ねえ、明日がまだ何ひとつ失敗をしない
新しい日だとおもうと嬉しくない??」
(図書館司書:八木先生が好きな「赤毛のアン」より)



「読書」のすすめ



先日、1年生を対象に、図書室利用オリエンテーションを実施しました。
本校には、毎週水曜日と木曜日に、図書館司書として八木先生がいらっしゃいます。オリエンテーションでは、八木先生から、①図書室の利用の仕方 ②図書の分類 ③八木先生おすすめの本 などの話をしていただきました。中学校の図書室は、おそらく、小学校とはまた違った品揃えになっているのでしょう…。その後、生徒たちは、次々に本を手に取り、興味をもった本を借りていきました。なかには、早速、八木先生おすすめの本を借りていく生徒も見られ、八木先生も嬉しそうになっていました。

「文字を通せば、何年も前に生きてきた人と同じものを見れるんだ。(中略)そこいながらにして、たいいていのことはできてしまう。のび太はタイムマシンに乗って時代を超えて、どこでもドアで世界を回る。マゼランは船で、ライト兄弟は飛行機で新しい世界に飛んでいく。僕は本を開いてそれをする!!」

瀬尾まい子さんの『図書館の神様』という作品の一節ですが、見事に読書することの意義や喜びを言い当てているように思います。例えば、私たちは物語を読むことで、その中に生きている人の生き方や人生を追体験することができます。また、これまで知らなかった世界に触れることもできますし、ときには、自分の中に眠っていたさまざまな感情が揺り起こされることもあるでしょう。本を開くことは新しい自分に出会うことでもあるのです。

本校では、全校一斉に「朝読(朝の読書)」を行っています。朝の10分間という短い時間ではありますが、子どもたちは集中して本に向かっていきます。一日の読書時間が10分だとしても、一ヶ月で(約20日間の登校だとして)3時間以上の読書時間になります。多感な時期に、よき本と出会い、豊かに成長して欲しいと願います。

～大型連休(ゴールデンウィーク)の過ごし方について～

新型コロナウイルスの勢いが止まりません。本市でも「市感染拡大防止一斉行動」が設けられ、公共機関等の休館が発表されています。そんな中で迎える大型連休になります。学校では以下の点について指導しましたので、ご家庭でもよろしくをお願いします。なお、詳細は生徒指導だより「大王松」に記載してあります。

- 1 新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、不要不急の外出を避ける。外出する際も人ごみを避ける。
- 2 事故や非行行為を起こさない。巻き込まれない。
- 3 携帯電話やスマートフォンは正しく活用し、他人を傷つけたり、自分の可能性を閉ざしたりすることのないよう責任をもって利用する。



特に「3」についてですが、コロナ禍でSNSやゲームに興じる時間は増えていないでしょうか?中高生のトラブルの多くは、SNSに起因しています。お子さんは今、どんなことに興味をもっているのか?どれくらいの時間利用しているのか?などをよく確認し、またご家庭でルールを決めるなどの対策を講じていただきたいと思います。トラブルが起きてからでは遅いのです。

～来週の予定～



3日(月)	憲法記念日	6日(木)	15:50 頃下校
4日(火)	みどりの日	7日(金)	14:50 頃下校
5日(水)	こどもの日	大型連休も、できるだけ規則正しくで生活したいものです。	